

■草野心平 詩人。〈軍国主義化〉時代生きるべく、「蛙」を素材に独自の境地、〈敗戦〉後も現実的詩風で力を発揮。

くさのしんぺい
日比谷公園・1903＝ 福島県磐城郡上小川村で、次男に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 2歳：
家庭の事情で、5人兄弟のうち唯一人、祖父母に預けられ、
わんぱくに育つ。

明治天皇没・1912＝ 9歳：

民本主義・・1916＝13歳： 兄が死去。遺品に短歌や詩の書かれたノートを見つける。母・姉も死去。県立磐城中学校に入学。
美術部で活動、

ベルサイユ条約・1919＝16歳： 退学し、上京。
大暴落・・・1920＝17歳： 慶応大学普通部3年に編入するも、中退し、英語・北京語の学校に通う。
原敬首相暗殺1921＝18歳： 中国上海に渡り、広東のアメリカ系ミッションスクール嶺南大学に入学、
水平社結成・1922＝19歳： アメリカの詩に親しみ、詩作も始める。
関東大震災・1923＝20歳： 雑誌{詩聖}に投稿した詩が初めて掲載され、亡兄との合同詩集「廃園の喇叭」作成。
護憲三派圧勝1924＝21歳： 大学に新設された日本語講座担当教師になる。『謄写版の詩集「月蝕と花火」。
治安維持法・1925＝22歳： 同人詩誌{銅鑼}を創刊するが、排日英運動が激化したため、帰国。

共産党事件・1928＝25歳： {銅鑼}を終刊。結婚。*詩誌{学校}を創刊。全編蛙を素材とする特異な詩集第1詩集「第百階級」出版。

世界恐慌・・1929＝26歳： 上毛新聞社校正部に入社。長男が誕生。{学校}を終刊。

海軍軍縮条約1930＝27歳： 退社し、

滿州事変・・1931＝28歳： 麻布十番で、焼き鳥屋台「いわき」を開店。次男が誕生。『詩誌{鴛}を創刊。

五一五事件・1932＝29歳： 閉店し、実業の世界社に入社。『晩年の宮沢賢治とも文通し、

国際連盟脱退1933＝30歳： 宮沢賢治死去後、その作品の紹介に努め、

帝人疑獄事件1934＝31歳： 実業の世界社の帝都日日新聞編集部記者となる。『文圃堂「宮沢賢治全集」の共同責任編集者となる。

芥川直木賞始1935＝32歳： 中心的な同人として、詩誌{歷程}を創刊。

二二六事件・1936＝33歳： 長女が誕生。『第3詩集「母岩」あたりから、独自の宇宙感覚を示すようになる。

日中戦争始・1937＝34歳：

健保+総動員 1938＝35歳： 三男が誕生。

第二次大戦始1939＝36歳： {帝都日日新聞}を辞め、{東亜開放社}に入る。*詩集「蛙」出版。

大政翼賛会・1940＝37歳： 中華民国中央政府宣伝部専門委員となり、中国南京に渡る。

日米開戦・・1941＝38歳： 四男が誕生。中国在住日本人による雑誌{亜細亜}の同人になる。

創価学会検挙1943＝40歳： 詩集「富士山」、

敗戦・・・1945＝42歳： 敗戦で、全財産を没収され、南京で収容される。

新憲法公布・1946＝43歳： 帰国し、帰郷。

新憲法施行・1947＝44歳： 貸本屋「天山」を開業。

極東裁判決・1948＝45歳： 「天山」を閉店。『定本蛙』を出版。「牡丹園」では唯美的な傾向を示す。

三大事件・・1949＝47歳： 日本文芸家協会理事。*一連の蛙の詩によって、第一回読売文学賞。

独立回復・・1951＝48歳：

メデー事件・1952＝49歳： 文京区に、居酒屋「火の車」を開店。

55年体制始・1955＝52歳： 「火の車」を新宿に移す。現代詩人会幹事長。

国連加盟・・1956＝53歳： 「火の車」を閉店。詩誌{季節}の編集同人になる。

なべ底不況・1957＝54歳： 日本ペンクラブ理事。

美智子妃・・1959＝56歳： 季刊詩誌{無限}を創刊。

安保闘争・・1960＝57歳： 新宿にバー「学校」を開店。福島県双葉郡川内村の名誉村民となり、

しだいに原始幻想の世界を展開。

TV宇宙中継始1963＝60歳： ようやく、東村山に、自分の家を持つ。

大学紛争始・1965＝62歳： 『10数年ぶりに、詩集「第四の蛙」出版。続いて「マンモスの牙」、棟方志功板画の詩画集「富士山」出版。

いざなぎ景気1966＝63歳： 川内村に、{天山文庫}完成。

霞ヶ関ビル・1968＝65歳： 『こわれたオルガン』あたりから、自己の生死を見すえた現実的詩風に移り、

大阪万博・・1970＝67歳： 『評伝「わが光太郎」によって、読売文学賞。

石油ショック1973＝70歳：

角栄金脈辞任1974＝71歳： 妻が死去。『詩集「凹凸」を出版、以後、毎年1冊詩集を出し、

クランブル事件1975＝72歳：

JALハイジャック・1977＝74歳： 勲三等瑞宝章。

成田衝突・・1978＝75歳： 「草野心平全集」の刊行が始まる。

友人らが、相次いで死去し、自らも入退院を繰り返しながら、

中曽根内閣・1982＝79歳：

デイズ・ニューラント 1983＝80歳： 『文化功労者』。

・・・・・1984＝81歳：

バブル始・・1986＝83歳： *この年まで、続けたが、

竹下内閣・・1987＝84歳： 『文化勲章受章後、

リクルート事件・1988＝85歳： 『急性心不全で、没した。』

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、